

C O N T E N T S

- 2 仲井眞知事 年頭のあいさつ
- 4 県政フラッシュ
- 6 特集1
仲井眞 新県政スタート
- 8 特集2
この秋 県立博物館・美術館がオープンします
- 10 特集3
県職員の給与についてお知らせします
- 12 亜熱帯 美ツクリレンズ
—やんばるに暮らす生き物たちの素顔—
- 14 愛ランドまーい
地域がはくくんだ、ふれあいのつながりを訪ねて
- 16 県の動き 1
芸術を身近に感じてみませんか？
～平成18年度沖縄県芸術文化祭～
- 17 県の動き 2
見る！触れる！味わう！
「おきなわ花と食のフェスティバル」
- 18 情報広場 おしらせ
- 20 おきなわ^{ゆめんちや}夢人列伝

表紙写真
「花の島、沖縄四季抄」
1月号表紙写真「緋寒桜」
写真：久高 将和（くだか まさかず）

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。
公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

沖縄県広報課 TEL.098-866-2020
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

年頭のあいさつ

県民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は、昨年十一月の県知事選挙において、県民の皆様から県政を負託されました。県政を預かる重責を与えられたことに身の引き締まる思いです。多くの県民の期待を真しに受け止め、誠心誠意取り組んでまいらる決意です。

私の県政運営につきましては、「独立独歩」を縦軸に、「主体性のある相互依存」を横軸に考えたいと思えます。沖縄が将来において持続的に発展するためには、私たち自らが考え、率先して実行し、そして責任を負うという強い気概が不可欠です。さらに、沖縄は孤立して存在しているのではなく、国内外と協力・連携しながら成り立っており、他者のことを思いやる心が必要です。

昨年は、「第四回太平洋・島サミット」や「第四回世界のウチナーンチュ大会」が開催され、世界各国の人々との交流が積極的に図られました。

また、「第三回沖縄平和賞」の贈賞を通して平和を希求する「沖縄の心」を国内外に発信するとともに、平成二十二年度全国高等学校総合体育大会の本県開催が正式に決定する等、国際交流と世界の平和を目指す本県の取組が成果を上げつつあります。

高い産業分野の振興と多様な人材の育成等について引き続き重点的に取り組んでまいりたいと考えています。

また、県政の重要な課題である米軍基地問題については、我が国の安全保障に果たす役割、地主や駐留軍従業員の生活、跡地利用計画などを総合的に勘案して、米軍基地の一層の整理・縮小を求め、県民の過重な基地負担の軽減に取り組めます。

普天間飛行場の代替施設をめぐる問題については、同飛行場の危険性の除去を最優先の課題として、地元の意向や環境などに十分に配慮しつつ、政府と協議し、早急な解決に全力を尽くします。

今年度は、沖縄振興計画十年の折り返し点として、振興計画後期の初年度を迎えます。

これまでの振興計画において、稲嶺前知事の強力なリーダーシップの下、観光客数の堅調な伸びや積極的な企業誘致活動の展開による県内への企業立地数の着実な増加や沖縄都市モノレールの開業等による本県の持続的発展を支える基盤づくりなど、本県経済は着実な進展をみせております。

その一方で、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるなど、産業を振興させ十分な雇用の場を確保することは大きな課題となっております。

振興計画の後期においては、同計画に盛り込まれた事業・施策を着実に推進し、沖縄の特性をいかした発展可能性の

さらに、沖縄の誇れる宝を磨き上げる文化の向上、すべての人が安心して暮らせる安心・安全な生活の確保など、前県政の実績を継承し、沖縄の大躍進に向けて、全力を注いでまいります。

今後とも、県政に対して一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、新しい年が幸多き年でありますよう祈念しまして、新年のごあいさつといたします。

平成十九年一月一日

沖縄県知事 仲井眞弘多

